

ラテン系？夏鳥

初夏を向かえた自然塾の森は、萌黄色の新緑に包まれ清々しい空気でいっぱいになります。ゴールデンウィークが明ける頃には、夏鳥たちも長い旅を終え、営巣場所を探し始めます。塾の森で注目なのは、黄色が鮮やかな“キビタキ”です。レモンイエローの羽の色は見事で、ラテン系のノリノリの歌声も必聴ものです。



長距離移動する千ヨウ

千ヨウは千ヨウでも「鳥」ではなく「蝶」の話です。このアサギマダラという蝶は寒暖によって移動する習性があり、長距離移動するものだ、本州で放した個体が台湾で発見された例もあるなど、その移動距離は数千キロにも及ぶことがあります。ひらひらと舞う小さな体で海をも渡るなんて、生き物のエネルギーはすごいですね。



花を載せたイカダ

驚くこと無かれ！ハナイカダの葉っぱの上にあるのはなんと「花」なのです！なぜ葉っぱの上にあるのかはつきり分かっていないようですが、茎から出ていた花の柄と葉っぱの中心にある脈が癒着したためにこんな形になったそうです。写真右側の赤い脈がその部分です。田貫湖畔でも良く探せば見ることができます。

生き物時間

5月下旬頃から自然塾の“あかがえるの池”には産卵のためモリアオガエルが集まりだします。産卵は夜が中心で、樹上で一匹の大きな♀を取り囲んで行なわれます。夜の観察はちょっと大変と言う方は、早朝をお勧めします。えっ、その方がもっと大変だって！その通り、生き物観察は生き物時間に合わせて頑張りましょう！



視点



散り花の伝言

地面に咲いた花は  
幹に縛られていた頃より  
ますます妖艶に色を放ち  
私を睨みつけて言った

「おまえはいつ輝くのだ」

私はただ圧倒されて  
その花の最期の  
一瞬の輝きを  
写し撮るしか  
出来なかったのです